

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	経営サポート事業			事業番号	015-017
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	地域産業課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①成長分野をはじめとする新事業の創出		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数		
		寄与するKPI	有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.2	
		有	取組	成長産業分野などにおける企業の研究開発促進			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺産業戦略					
3	事業開始年度	昭和 12 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市公益財団法人堺市産業振興センター事業補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺市産業振興センター				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内中小企業者	対象数	単位		
			—	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内中小企業者の経営課題の解決を図ることで、その成長・発展に資する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 堺市産業振興センターへの補助事業として、①経営支援事業②人材育成事業③需要開拓事業④会場提供事業⑤伝統産業会館運営事業を実施。 見学者受け入れをしている製造事業者のPR 中小企業が活用できる公的機関の支援制度を掲載したガイドブックの作成・配布 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市産業振興センター、市内企業等				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
11 ビジネスマッチング件数	件	目標値	250	250	270	350
		実績値	194	237		
		達成率	78%	95%		
当該指標を選定した理由		訪問面談等により収集した情報などをもとに、ビジネスマッチングを実施することで、企業の経営課題解決の成果として評価することができるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市産業振興センターにおいてビジネスマッチング支援を行った件数				
12 訪問型 経営相談件数	件	目標値	600	600	650	
		実績値	480	591		
		達成率	80%	99%		
当該指標を選定した理由		当該指標により、企業が抱える経営課題の解決や支援情報の提供、取引機会の拡大などの市内中小企業の成長・発展のための支援状況を測ることができるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市産業振興センターの企業訪問等による経営相談件数				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	経営サポート事業	事業番号	015-017
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	501,134	340,637	362,929	350,148	318,081
13 財源内訳	国支出金	123,023			
	府支出金				
	市債				
	その他 (産業活性化基金繰入金)				17,757
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源	378,111	340,637	362,929	332,391
14 人件費 (b)	8,700	9,520	10,660	11,480	11,259
15 年間経費(c)=(a)+(b)	509,834	350,157	373,589	361,628	329,340

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	R4 決算	343,306	325,549	その他 (会計年度任用職員報酬など)	R4 決算	4,823	4,823
					R5 予算	4,935	4,935
	R4 決算	900	900		R4 決算		
					R5 予算		
	R4 決算	495	495		R4 決算		
					R5 予算		
	R4 決算	140	140	R4 決算			
				R5 予算			
	R4 決算	484	484	R4 決算			
				R5 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 訪問型 経営相談件数	件	480	591
② 上記①にかかる年間経費	千円	11,814	10,896
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	24,613	18,437

備考 (算出についての説明等) 年間経費：訪問型企業相談コーディネーター委託費

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 本事業においては、訪問型の経営相談等を実施することにより、企業ニーズを積極的に掘り起こし、課題解決に向けた支援を実施している。令和4年度において、新型コロナウイルス感染症の影響により事業所訪問に制約を受けたが、オンライン等も積極的に活用し面談等を実施した。経営相談件数が目標にわずかに至らなかったが、単位当たり経費は改善された。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 市内中小企業の経営課題の解決を図ることを目的に、令和4年度は、中小企業のデジタル化を促進するための支援を実施した。併せて、大学の研究シーズとのマッチングによる産学連携やオープンイノベーションなどによる産産連携を促進することにより、中小企業の製品・技術の高付加価値化や新分野進出を支援していることから、基本計画における戦略「4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～」の「成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出」に間接的に、またSDGs未来都市計画では「成長産業分野などにおける企業の研究開発促進」に寄与する取組である。なお、堺市産業振興センター事業補助金において、伝統産業会館の運営を実施しており、基本計画における戦略「1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～」の「(5) 伝統産業のブランド力向上による活性化」に関連する事業である。